

仙北市新型コロナウイルス感染症 対策本部からのお願い

新型コロナウイルス感染症対策本部(仙北市総務課内) ☎43-1111
(仙北市総合防災課内) ☎43-1115

！ 仙北市で新型コロナウイルス感染症の感染者が拡大しています

仙北市では8月に入り、新型コロナウイルス感染症の感染者が、30人以上と推計されています。8月の人口10万人あたりの感染者数は、県全体の約4倍、秋田市の約2.5倍となっており、感染が急拡大しています。

職場内でのクラスターも発生しており、家庭内や飲食の場での感染も報告されています。また、感染した方の濃厚接触者や単なる接触者でPCR検査の対象となった方もかなりの数になっていると思われます。

市の対策本部では、この危機的な状況に歯止めをかけるため、緊急的に以下の8項目について、市民の皆さまに強く要請します。

市民一人ひとりが行動を改め、危機意識を高めることが、家族や友人、地域を守る最大の防衛策となります。皆さまのご理解をよろしくお願いいたします。

！ 緊急コロナウイルス感染防止対策《8項目の要請》

緊急に対策をお願いする事項

- ① 日常お会いする方以外との接触の自粛。
- ② 会合などは、真に必要なもの以外は避ける。
- ③ 飲酒を伴う会食は、控える。
- ④ 健康観察(検温など)を行い、発熱やけん怠感、のどの痛みがある場合は、発熱外来を必ず受診する。
- ⑤ 濃厚接触者になった場合は、ほかの方との接触をしない。

引き続き対策を強化する事項

- ⑥ 県外との不要不急の往来の自粛。
- ⑦ 「3密」の回避(密集、密接、密閉)。
- ⑧ マスク(不織布)の着用とこまめな手洗い、消毒。

！ 感染者などに対する誹謗中傷は絶対に許されません！

新型コロナウイルス感染症に感染された方やその家族、職場の同僚、治療にあたっている医療関係者への誹謗中傷の事例が全国で報告されています。特にインターネットやSNSなどで誹謗中傷の書き込み、風評被害の恐れのある情報の拡散などが問題になっています。

こうした行為は、情報が正確かどうかにかかわらず、人権侵害と認められ処罰の対象になります。どのような理由があっても不当な差別や偏見、いじめなどは絶対に許してはなりません。どうかうわさや思い込みではなく、正しい情報をもとに行動してください。そして、感染された方やそのご家族などには思いやりをもって接していただくことを心からお願いします。

あきた新型コロナ 24時間受付 ☎018-866-7050
受診相談センター 8時～17時(毎日) ☎018-895-9176 / ☎0570-011-567

12歳から15歳までの方へ

ワクチン接種の予約開始は
9月6日(月)からです！

予約方法 予約はすべて仙北市コロナウイルスワクチン
接種コールセンターへお願いします。

☎0570-038899
(土・日曜日、祝日を除く 9:00 から 17:00)

市長の まちづくり No.183 日記

『仙北警察署の佐藤署長から』

仙北市長 門脇 光浩

秋田県は8月10日、仙北警察署で新型コロナウイルス感染症のクラスター(集団感染)が発生したと発表しました。厚生労働省では、一つの集団(職場など)で5人以上の感染者が発生した場合、クラスターと判断する目安を決めています。クラスターは、一人の感染をきっかけに集団内で感染が広がり、そこからさらに外部へと感染が拡大するケースも多く、強力な封じ込め対策を徹底して行います。

先月、初めて新型コロナウイルス感染症の市内感染が確認され、それもクラスターが発生したことで、感染の防止対策はもろろんですが、警察署の防災活動や安全対策などに不安を感じる市民の声が届いています。そこで適口、同署の佐藤正志署長に実情などをお話したところ、佐藤署長から市民の皆さまにお手紙をいただきました。この紙面でお伝えをします。

「この度、多数の署員が新型コロナウイルス感染症に感染し、市民の皆さまに心配とご迷惑をおかけしていることに対し、お詫びを申し上げます。事件や事故など各種事案の対応につきましては、県警本部の応援を得ながら

適切に対応しているところです。今後は、感染防止対策を徹底するとともに、より一層仙北市の安全・安心を確保するため、署員一同力を合わせ取り組んでまいります。これまでと同様の「ご理解と協力をお願いいたします」と。警察、市民、市役所が力を合わせ、この難局を乗り越えたいと思います。

また、このケースとは別に、田沢湖地区で感染が急拡大しています。先月のコロナ対策本部で、私は「市内の現状は災害レベルで危機的状況が続きます。医療もひっ迫しています。この後に開催予定の行事の開催などに対し、本部として感染拡大を引き起こす要因となる行為には自粛を要請したいと思っております」と提案し、会議は全会でこれを了承しました。

まず市民の皆さまには、人混みを避けること、マスクの常時着用、手指消毒、3密回避、県境をまたぐ往來の自粛など徹底をお願いします。また、興味本位のウワサ話しが流れています。流布に荷担しないよう、誹謗中傷などは絶対に行わないでください。私たちは必要数量を確保し、全力でワクチン接種を進めます。

地域の未来のために、私たちができることはなんだろう？

あたり前の暮らしをこの先もずっと続けるために、私たち一人ひとりが考え、行動に移すことが大切です。SDGsは、「誰一人取り残さない」社会を実現する世界共通目標です。

全部で17個あるSDGsの目標のうち、今号は「目標13」をご紹介します。

問 仙北市地方創生・総合戦略室 ☎43-3315

みんなで取り組む

エスディー・ジーズ

SDGs

vol.13

17の目標から今回紹介するのは…



SDGs 目標13 気候変動に具体的な対策を

世界中で増加している様々な自然災害の原因の一つは「地球温暖化」。すなわち私たちが排出する二酸化炭素などの「温室効果ガスの増加」と言われています。地球温暖化は、自然災害だけでなく、動物や植物などの生態系にも大きな影響をおよぼしており、二酸化炭素などをできるだけ出さない工夫や取組が私たちに求められています。

また、SDGsの多くのアクションは、結果的に温暖化の緩和につながるため、目標13がSDGs達成の鍵を握っていると考えることもできます。

問題になっていること

- ▶ 地球温暖化による海面上昇、海洋酸性化、異常気象、生態系への悪影響
- ▶ 降水量、降雪量の減少による渇水
- ▶ 農作物の病気、収穫量の減少

私たちにできること

- ▶ 冷暖房機に頼り過ぎない。
- ▶ 家電製品の主電源をこまめに切る。コンセントを抜く。
- ▶ LED照明に変える。
- ▶ 自転車や徒歩など二酸化炭素排出の少ない交通手段を使う。

